



地域おこし協力タイムス

現在市で活動している地域おこし協力隊の隊員が交替でお届けします。第7回はカヌー普及推進員の藤野浩太さんです。

こんにちは、藤野浩太です。お盆を過ぎて朝晩は少し涼しくなってきたように感じます。日中はまだまだ暑い日が続いていますが、過ごしやすくなってきているなと思います。

7月27日、28日に開催したカヌージャパンカップでは、暑い中大勢の皆さんにお越しいただきありがとうございました。今年は両日とも天気が良く絶好のカヌー日和で迫力のレースを観ることができたのではないのでしょうか。会場では仮設のプールを作り、カヌーをこぐ雰囲気体験してもらいました。選手だけではなく、来ていただいた観客の皆さんも楽しんでもらえるような大会をこれからも目指していきたいと思ひます。



▲ジャパンカップには選手として出場しました

5月から始めている週末カヌー教室は、7月までの8回で延べ65人に参加してもらいました。残すところあと6回です。これからの時期は涼しくなり、夏とは違ったカヌーを体験できると思います。たくさんのお申し込みをお持ちしています。



週末カヌー教室

- 日程 9月14日(日)、15日(月)、21日(日)、23日(火)、28日(日)、29日(月)
- 時間 午前の部 10:00～11:30、午後の部 13:30～15:00
- 場所 胆沢若柳馬留広場内 馬留池
- 対象 小学3年生から大人まで※未成年者は保護者の同意が必要
- 参加費 1回500円
- 服装 水着またはぬれても良い服装、運動靴またはウォータースーツ、メガネの人は眼鏡バンド
- 問い合わせ・申込先 藤野浩太 (☎ 090-7018-0288) または本庁元気戦略室 (☎ 34-2223 ※平日のみ)

秋の気配も次第に濃くなり、穏やかな好季節となってきました。皆さまいかがお過ごしですか。
8月4日、東京都江戸川区で開催されたカヌー・スラロームシンポジウムに、パネリストとして参加してきました。市で開催されたジャパンカップの様子を紹介したほか、カヌーを通じたまちづくりについて意見を交わしました。また、来年の東京オリンピックのカヌー競技会場である「カヌースラロームセンター」を視察しました。市では現在、カヌー競技の事前キャンプ地に名乗りを上げています。世界トップレベルの選手が奥州いわさかカヌー競技場で調整し、この大舞台で活躍してほしい、という思いを強くしました。引き続き誘致活動に努めてまいります。



8月上旬、今年度で10回目となる、早稲田大学フィールドワークが行われました。今年度は、スポーツ振興をテーマに調査研究がなされ、受講生からは、市内スポーツ施設の活用などについての提言をいただきました。今後の施策に生かしてまいります。また、10周年記念講演会では「後藤新平をめぐる青年教育について」と題し早稲田大学の元総長、現ポリースカウト日本連盟理事長の奥島孝康さんよりご講演をいただきました。初代理事長である後藤新平の自治三訣を引用し、人としての生き方について語っていただきました。私たちも、郷土の偉人の思いを引き継いでまいります。
国立天文台水沢の本間希樹所長をはじめ研究者の皆さんから、ブラックホールなど宇宙に関する図書を、図書館に寄贈していただきました。子どもはもちろん大人もぜひ図書館に足を運び、天文学や科学の世界に触れていただければと思います。

奥州市長 小沢昌記



希望のひかり 第70回

ILC (国際リニアコライダー) 計画の各種最新情報をお届けします

市ILC推進連絡協議会 総会を開催

市ILC推進連絡協議会の総会が8月8日、江刺総合支所で開催されました。本総会では、昨年度事業報告のほか、ILCの誘致実現に向けて取り組みを進めていくとした本



ILCを巡る動向を説明する重特命課長

年の事業計画などが承認されました。

総会後は、県ILC推進局長の重浩一朗特命課長を講師とした講演会を開催。重特命課長は、国内では来年2月にまとまるマスタープラン、国外では来年5月策定の欧州素粒子物理戦略にILC計画を盛り込むことが非常に重要になるといった、ILCを巡る動向などを説明し、「ILC実現に向けた取り組みは一つずつ前に進んでいる。市と県の取り組みを連動させていきたい」と述べました。

いわて銀河フェスタ

8月24日に国立天文台水沢V LBI観測所と隣接する奥州宇宙遊学館で開催されまし



好評だった缶バッジの作成

た。平成20年から始まった同フェスタは今回が12回目。史上初のブラックホール撮影成功に沸く中、「ブラックホール最前線! 120年続く国際観測」というテーマで開催されました。会場ではブラックホールに関する展示やイベント、関連商品もずらりと並び、会場は多くの家族連れなどの来場者でにぎわいました。

ILCブース

市では、県南広域振興局と共同でILCブースを出展。パネルの展示やうちわ・パンフレットを配布しました。特に、ILCサポーターズロゴをモチーフとした缶バッジの作成は大盛況で、参加者たちは楽しく体験しながら理解を深めていました。

本コーナーでは、ILC計画について皆さんの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。お問い合わせ先「ILC推進室」(☎ 34-2126) / FAX 34-2223 / E-mail: icc@city.osu.lwate.jp

あんなことこんなこと

ILC国際化推進員 トマス・アンナの



私の下手な着付けを快く承諾してくれたエバンスさん

アンナです。9月末に退職することになりました。5年間大変お世話になりました。お隣宮城県で活動しながら、定期的に奥州市に遊びに来ます！最終回となる今回のテーマは「私のヒーロー」です。

私のヒーローは、ILC計画を推進するリニアコライダー・コラボレーションの最高責任者リン・エバンスさんです。この仕事を始めた頃にエバンスさんの視察対応をしましたが、私にとって雲の上の存在だったので、緊張して一言しか話せませんでした。後で分かったのは、とてもフレンドリーで、スーツよりキティTシャツを好むような方でした。しかし、ヒーローである理由は、優しくお茶目な方だからではありません。将来のビジョンを持ち、そのビジョンに向けて積極的に取り組んでいるからです。ILCは巨大なプロジェクトで、書類仕事やミーティング、スピーチ、出張など家族に会えない日々が続きます。そしてゴールとなるILC実現は、2030年代という少し遠い未来です。今、取り組んでいる皆さんが、運用開始まで生きて成果を見られる保証はありません。ILCが実現することすら保証がありません。それでもエバンスさんは、英知と人類のために今日も取り組んでいます。私が一番憧れるのはエバンスさんのように「何か」を作っていく人です。「私は何もできない」とあきらめないでください。一人一人の力を合わせて一緒に前へ進んで行けば、きっと素晴らしい未来、ILCが実現する未来が待っているはずで。その未来でまたお会いしましょう！